



## 第35回

# 福岡県学童保育研究集会

保護者ととともに育む学童保育  
～語り合おう子どもの思い！親の思い！支援員の思い！



### 記念講演

ひとりじゃないよ！  
支え合って語り合ってつながろう

講師 河野 伸枝 (埼玉県原市場学童保育指導員)

主催 ■ 福岡県学童保育連絡協議会

後援 ■ 福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・朝倉市・飯塚市・糸島市・うきは市・大川市・大野城市・大牟田市・春日市・嘉麻市・古賀市教育委員会・田川市教育委員会・太宰府市教育委員会・筑後市・筑紫野市・中間市・直方市・みやま市・宮若市・宗像市・柳川市・八女市・行橋市教育委員会・芦屋町・宇美町・大木町・大任町教育委員会・岡垣町・遠賀町・粕屋町教育委員会・鞍手町・桂川町・小竹町・志免町・新宮町・大刀洗町・那珂川町・福智町・水巻町・赤村

とき 2017年 1月22日(日)

午前9時40分～午後4時

ところ 春日市クローバープラザ

### ◆参加費

- \* 会員 2,000円 両親参加 3,000円
- \* 非会員 2,500円 両親参加 4,000円
- ◎ 弁当代 700円(子ども用 500円)
- ※ 申し込み〆切 1月 7日(土)
- ※ キャンセルは 1月 14日(土)までとします。

### ◆会場

## 春日市クローバープラザ

〒816-0804 春日市原町 3-1-7  
(財)福岡県地域福祉財団 施設利用課  
TEL(092)584-1212・FAX(092)584-1214

### <交通のご案内>

- ◆ JR「春日」駅より徒歩約1分
- ◆ 西鉄電車「春日原」駅より徒歩約10分
- ◆ 西鉄バス「千歳町2丁目」バス停より徒歩約1分
- ◆ 九州自動車道太宰府ICより車で約15分

### <お願い>

- 会場はJR春日駅前です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- クローバープラザ内の有料駐車場  
(2時間無料、以後30分につき150円かかります)をご利用下さい。いずれも現地で係がご案内します。
- 大型バス、マイクロバスでのご来場の方で、駐車場が必要な場合は、別途準備いたしますので事前にご連絡ください。

### ◆申し込み方法

\* 参加申し込み・送金は下記まで

参加費(必要な方はお弁当も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、その控えのコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」をあわせて、FAXか普通郵便でお送りください。

#### ●参加申し込み先

〒805-0067 福岡県北九州市八幡東区祇園 2-4-22  
TEL093-662-6000 FAX/093-662-6006

送金先: 福岡県学童保育連絡協議会

<郵便振替口座 01730-2-132265>

● あそびの広場: 保育(4才以上)の代わりに行います。参加申し込みと合わせて申し込みをしてください。(先着60名)

保険料とおやつ代の700円を当日いただきます。

\* 申込受付後、受講票を送ります。当日ご持参下さい(受講票はお弁当の引き換え券と領収書となっています。)

### 会場地図



# 日 程

9:20      9:40      10:10      10:30      12:05      13:00      16:00

受付	開会行事	特別報告	記念講演	昼食	分科会
----	------	------	------	----	-----

## 記念講演

### <プロフィール>



『ひとりじゃないよ！  
支え合って語り合っ  
つながろう』

**河野 伸枝**

(埼玉県原市場学童保育指導員)

1959年、鹿児島県南さつま市生まれ。幼稚園教諭を経て、1990年、埼玉県原市場学童保育指導員となる。埼玉県学童保育連絡協議会副会長。認定資格研修講師。著書に、『わたしは学童保育指導員』（高文研）、共著に『子どもの発達と学童保育』（福村出版）教育シリーズ『貧困と学力』（明石書店）『学童保育ははじめの一步』（草土文化）他、雑誌『日本の学童はいく』（全国学童保育連絡協議会）『教育』（かもがわ出版）に寄稿。学童仲間たちとの宴会がなによりのたのしみ。

## 分科会 13:00~16:00

### ■テーマおよび内容

分科会	テーマ	分科会内容	助言者
1	熊本地震と学童保育	2016年4月に熊本地震が発生しました。被災した地域の現状、学童保育の復旧・復興に向けての課題はなにか、大きな災害が起きたとき、学童保育に通う子どもたちの安全をどのように守るか、必要なことについて考え合います。また、学童保育の防災・安全対策、災害時に求められる役割を保障する学童保育の施策・運営を考えます。	神田 公司 (熊本県連協会長)
2	ワークショップ「一人にならない子育てを」	仕事が忙しく、学童保育に関わりたくない保護者の方が多くなっている一方で、子育てに一人で悩む保護者も多くなっています。学童保育は子どもを預けるだけでなく、共同の子育ての場として、支援員、保護者同士とつながり合うことにより、学童保育と地域で子育てをする楽しさを交流します。	河野 伸枝 (埼玉県原市場学童保育指導員)
3	行政と学童保育運営	学童保育は、国の新制度により、市町村の役割がより明確になりました。また、「放課後児童クラブ運営指針」も国から示される中、学童保育の実態と課題を交流し、公的責任を明らかにし、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあいます。	森元 茂利 (福岡県連事務局長)
4	ワークショップ「支援員の仕事～やりがいのある仕事」	学童保育現場では様々な事が起こり、良い時もあれば、時には悩み落ち込んでしまうこともあります。それでもわたしたち支援員が働き続ける理由はなんでしょう。みなさんとその理由を出し合い「放課後児童支援員としてやりがいのある仕事」は何なのかを考え合いましょ。	吉岡 美保 (遠賀町放課後児童支援員)
5	どの子どもも楽しく過ごせる空間づくり ～広汎性発達障害の子どもの理解～	広汎性発達障害とは？ 異年齢集団の中で子どものよくある行動に対して「どのように理解して、どのように対応をするべきか」「何をしなければならないのか」集団生活が苦手な子どもを理解し、障がいがあるけれども無くて共に育ち合い、どの子どもも楽しく過ごせる空間づくりを学ぶ。	田中 裕司 (別府教育事務所合理的配慮アドバイザー)
6	発達障害児の理解と支援	発達障がいのある子どもの理解を深め、学童保育の生活づくり、子ども同士の関わり、支援員との関わり、保護者との関わりで大切にしたいこと、保育する上で求められることを学びあいます。	下村 智子 (大分県日出支援学校 教頭)
7	特に配慮を必要とする子どもへの対応～学童が居場所となるために児童相談所から学ぶ～	運営指針第3章「放課後児童クラブにおける育成支援の内容」の3「特に配慮を必要とする子どもへの対応」において、「関係機関と連携し適切な対応を図らなければならない」と明記してある通り、学童保育として関係機関との連携及び支援の方法を児童相談所から学び考え合いましょ。	田川児童相談所 保護課
8	あそびのワークショップ	あそび心が大事と思いませんか？ 今の社会は、高度に画一化し創造力の入り込む余地がないように思えます。私たち大人も、あそびを知らない、楽しむことを知らない、感性が育っていないと言われていいます。この一日、身体を思いっきり使い、「楽しく・生き生きと笑えるあそび」を劇団の方々と一緒に体験してみましょ。当日は動きやすい服装で来てください。(先着50名)	劇団風の子九州
9	子どもの心を支える絵本の世界と読み聞かせ	『三びきのやぎのがらがらどん』の絵本は、大人から「絵が暗い・残酷だ」と非難されてきたにもかかわらず、子どもには受け入れられてきました。それは、「恐怖」や「不安」にからめとられやすい子どもの心への「慰み」と、そこから新たな一步を踏み出すための「励まし」のメッセージが描かれているためでしょう。そんな絵本の世界を、私たち自身の子どもの時代の心の声にも耳をすませながら、一緒に見つめてみませんか。	高木 勲 (絵本研究家)
特設	あそびの広場 ＜こどものみの参加＞	こどもはこどもであそびの研究♪あそびはこどもの勉強だ！この日つどった仲間と一緒に、『ワクワク』『ドキドキ』『ウキウキ』『ハラハラ』いろんな遊びを楽しもう！ <b>※4才以上対象。参加申し込みと合わせて申し込みをしてください。</b> <b>＜先着60名＞</b>	「あそびの広場」 実行委員